

2（3）県民の心身の健康を守るプロジェクト

全国にも誇れるような健康長寿県となるため、これまで以上に県民の心身の健康の保持・増進を図るなどの取組を進める。

（単位：千円）

①県民の健康の保持・増進

—県民健康調査—

1 県民健康調査事業（保健福祉部 県民健康管理課） 6,064,552

原子力災害に伴い、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげ、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図ることを目的に全県民を対象に県民健康調査等を行う。

—健康づくりの推進—

新2 ふくしまからはじめよう。検診からはじまる健康安心復興事業（保健福祉部 健康増進課） 93,997

被災者等の生活習慣の変化に伴う、身体状況の悪化を解消するため、がん検診の受診率向上及びがんの予防に重点を置いた取組を実施し、復興を支える県民の生涯にわたる健康の保持・増進につなげ、全国に誇れる健康長寿県を目指す。

3 学校給食検査体制支援事業（教育庁 健康教育課） 92,462

学校給食の食材に対する保護者の不安を軽減するとともに、学校給食の一層の安心・安全を確保するため、市町村が実施する学校給食用食材の放射性物質検査を支援するとともに、県立学校の学校給食用食材の検査を継続する。

②地域医療等の再構築

—人材確保・育成—

1 ふくしま医療人材確保事業（保健福祉部 地域医療課） 654,719

県内の医療提供体制の回復及び復興に繋げるため、医療機関が行う医療人材の確保等を支援する。

新2 周産期医療人材養成支援センター（仮称）運営事業（保健福祉部 地域医療課） 99,892

県民が安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するため、周産期医療機関への支援及び周産期医療医師の確保等に取り組む。

新3 ふくしまからはじめよう。福祉人材確保推進プロジェクト事業（保健福祉部 社会福祉課） 240,323

東日本大震災及び原子力発電所の事故により流出した福祉・介護人材の確保等を図るため、職場内研修の強化、新規採用職員への支援、潜在的有資格者の再就職支援、職場体験、新任介護職員研修など、福祉・介護人材の育成・確保・定着につながる様々な事業を総合的に展開する。

新4 保健医療従事者養成施設整備事業（保健福祉部 地域医療課） 1,763

保健医療従事者の県立養成施設整備に向けた検討を行うための事業を実施する。

—地域医療・福祉提供体制の強化—

5 地域医療復興事業（保健福祉部 地域医療課） 6,836,032

東日本大震災とそれに伴う原子力災害により被災した浜通り地方の医療復興のため、浜通り地方医療復興計画に基づいて、医療提供体制の再構築を図る。

新6 県立大野病院附属ふたば復興診療所（仮称）整備事業（病院局 病院経営課） 301,608

双葉地域の復興及び住民帰還に向けた環境を整えるため、檜葉町内に診療所を設置する。

（関連事業）双葉郡医療提供体制等再生支援事業（避難地域復興局 避難地域復興課）

東京電力福島第一原子力発電所の事故による原子力災害から双葉郡の地域医療体制を再生させるため、双葉地方広域市町村圏組合が取り組む郡立診療所の開設準備等の事業実施を支援する。

③最先端医療提供体制の整備

1 ふくしま国際医療科学センター整備事業（保健福祉部 地域医療課） 13,573,477

将来にわたる県民の健康維持・増進に資するため、県民健康調査や放射線健康障害の早期発見・最先端治療等の拠点整備を推進する。

④被災者等の心のケア

新1 被災者の心のケア事業（保健福祉部 障がい福祉課） 549,632

東日本大震災及び原子力発電所の事故により高いストレス状態にある県民及びその支援者に対する心のケアの拠点として、心のケアセンターを県内各方部に設置し、訪問活動や支援者への研修会等を実施する。また、県外では、避難者の多い県を中心に心のケアが実施できる団体へ委託し、避難している方に対する心のケアを実施するとともに、WBC 検査に併せて心のケアセンター職員による健康相談も実施する。

新2 子どもの心のケア事業（保健福祉部 児童家庭課） 140,279

被災児童や保護者等に対し、「ふくしま子ども支援センター」を活用して心のケアを行うほか、児童相談所などの相談体制の強化や支援団体のネットワーク化を図る。さらに、県外に避難している児童や保護者への支援、乳幼児を持つ保護者の不安解消のためのグループミーティングなどを実施する。

	事業数	事業費（千円）
本資料に掲載した事業	12	28,648,736
その他の事業	25	10,923,060
合計	37	39,571,796